



各位

平成 24 年 11 月 12 日  
会社名 三 櫻 工 業 株 式 会 社  
代表者名 取締役社長 篠原 利幸  
(コード番号 6584 東証第一部)  
問合せ先 取締役執行役員  
財務管理部長 篠原 良幸  
(TEL 0280-33-1121)

## (訂正)「平成 23 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、本日付「訂正有価証券報告書等の提出及び過年度決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」で開示いたしましたとおり、過年度の決算を訂正することといたしました。

このため、平成 23 年 1 月 27 日に発表いたしました「平成 23 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容を一部訂正いたしましたので下記の通りお知らせいたします。

### 訂正事項

- ・ サマリー情報 1. 平成 23 年 3 月期第 3 四半期の連結業績
- ・ 添付資料 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報  
3. 四半期連結財務諸表

訂正箇所につきましては、\_を付して表示しております。

(訂正前)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成 23 年 3 月期第 3 四半期の連結業績(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 3 月期第 3 四半期	60,829	20.6	<u>5,763</u>	<u>88.3</u>	<u>5,290</u>	<u>72.7</u>	<u>2,755</u>	<u>65.7</u>
22 年 3 月期第 3 四半期	50,458	△23.4	<u>3,060</u>	<u>18.0</u>	<u>3,063</u>	<u>37.7</u>	<u>1,663</u>	<u>47.0</u>

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23 年 3 月期第 3 四半期	<u>77.26</u>	—
22 年 3 月期第 3 四半期	<u>47.37</u>	—

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23 年 3 月期第 3 四半期	<u>67,100</u>	<u>36,798</u>	<u>51.9</u>	<u>948.81</u>
22 年 3 月期	65,244	33,890	49.2	914.28

(参考) 自己資本 23 年 3 月期 第 3 四半期 34,803 百万円 22 年 3 月期 32,074 百万円

(訂正後)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成 23 年 3 月期第 3 四半期の連結業績(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 3 月期第 3 四半期	60,829	20.6	<u>5,634</u>	<u>91.2</u>	<u>5,161</u>	<u>74.9</u>	<u>2,678</u>	<u>67.9</u>
22 年 3 月期第 3 四半期	50,458	△23.4	<u>2,947</u>	<u>19.2</u>	<u>2,950</u>	<u>40.3</u>	<u>1,595</u>	<u>50.6</u>

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23 年 3 月期第 3 四半期	<u>75.11</u>	—
22 年 3 月期第 3 四半期	<u>45.45</u>	—

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23 年 3 月期第 3 四半期	<u>67,700</u>	<u>35,914</u>	<u>50.1</u>	<u>924.70</u>
22 年 3 月期	65,792	33,082	47.5	891.25

(参考) 自己資本 23 年 3 月期 第 3 四半期 33,919 百万円 22 年 3 月期 31,266 百万円

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(訂正前)

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間は、外需や政策効果による企業収益の改善もあり、景気は自律的な回復の動きも見られましたが、雇用情勢は冷え込んだままであり、当社グループを取り巻く事業環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループの主力製品である自動車・輸送用機器用配管製品ならびに自動車用樹脂製品は、海外を中心に前年同期に比べて生産が大幅に増加いたしました。

その結果、売上高は608億29百万円（前年同期比20.6%増加）となりました。また、利益面につきましては、売上高の回復に加えて、前期から取り組んできた構造改革によるコスト削減効果により、経常利益は52億90百万円（前年同期比72.7%増加）、四半期純利益は27億55百万円（前年同期比65.7%増加）と、増収増益となりました。

製品別では、車輻配管製品（ブレーキ・燃料配管用等）、エンジンシステム向けのブレイジング製品（燃料噴射用、冷却水循環用、オイル冷却用等）、樹脂製品（クイックコネクター、樹脂チューブ製品等）及び車輻安全製品（シートベルト用）のいずれの製品も前年同期と比べて売上げが増加いたしました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①日本

環境対応車向けの補助金制度は終了しましたが、取引先自動車メーカーの生産は前年同期に比べ回復し、製品受注が増加いたしました結果、売上高は339億78百万円（前年同期比14.6%増加）、営業利益は、33億2百万円（前年同期比57.6%増加）となりました。

#### ②北米・中南米

取引先自動車メーカーの生産回復により、売上高は139億29百万円（前年同期比28.1%増加）となりました。また、構造改革による業務効率化と生産性の向上により、営業利益は11億50百万円（前年同期比243.3%増加）となりました。

#### ③中国

中国自動車市場の拡大により引き続き堅調に推移いたしました結果、売上高は38億80百万円（前年同期比10.3%増加）、改革による業務効率化と生産性の向上により、営業利益は4億68百万円（前年同期比41.8%増加）となりました。

#### ④アジア

タイ、インドネシアをはじめとする東南アジアにおける自動車市場の大幅な回復により、売上高は69億33百万円（前年同期比54.3%増加）、営業利益は9億98百万円（前年同期比229.4%増加）となりました。

#### ⑤欧州

売上高は21億9百万円（前年同期比9.4%増加）となりましたが、取引先自動車メーカーの生産回復の遅れにより収益を確保するまでには至らず、74百万円の営業損失となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は671億円となり、前連結会計年度末に比べて18億57百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の増加7億34百万円、売上債権の増加91百万円、たな卸資産の増加5億26百万円、有形固定資産の減少10億93百万円、投資有価証券の増加10億25百万円、繰延税金資産の減少48百万円等であります。

負債合計は303億2百万円となり、前連結会計年度末に比べて10億51百万円減少しました。主な要因は借入金の減少12億8百万円、未払金の増加3億68百万円、退職給付引当金の増加3億16百万円等であります。

純資産は367億98百万円となり、前連結会計年度末に比べて29億8百万円増加しました。主な要因は四半期純利益による増加27億55百万円、配当金支払による減少6億64百万円、自己株式の処分による増加10億26百万円、為替換算調整勘定の減少3億99百万円等であります。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動により得られた資金は、税金等調整前四半期純利益が45億12百万円、減価償却費が31億36百万円、売上債権の増加による資金減が4億41百万円、たな卸資産の増加による資金減が8億99百万円、仕入債務の増加による資金増が8億86百万円、法人税等の支払による資金減が21億16百万円あったことなどにより、58億49百万円となりました。

投資活動により使用された資金は、有形固定資産の取得による支出が30億99百万円、投資有価証券の取得による支出が11億66百万円あったことなどにより、42億45百万円となりました。

財務活動により使用された資金は、短期借入金の返済による支出10億56百万円、自己株式の処分による収入9億92百万円、配当金の支払による減少6億64百万円などにより、6億80百万円となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は、前期末と比較して7億34百万円増加し、100億47百万円となりました。

(訂正後)

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間は、外需や政策効果による企業収益の改善もあり、景気は自律的な回復の動きも見られましたが、雇用情勢は冷え込んだままであり、当社グループを取り巻く事業環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループの主力製品である自動車・輸送用機器用配管製品ならびに自動車用樹脂製品は、海外を中心に前年同期に比べて生産が大幅に増加いたしました。

その結果、売上高は608億29百万円(前年同期比20.6%増加)となりました。また、利益面につきましては、売上高の回復に加えて、前期から取り組んできた構造改革によるコスト削減効果により、経常利益は51億61百万円(前年同期比74.9%増加)、四半期純利益は26億78百万円(前年同期比67.9%増加)と、増収増益となりました。

製品別では、車輻配管製品(ブレーキ・燃料配管等)、エンジンシステム向けのブレイジング製品(燃料噴射用、冷却水循環用、オイル冷却用等)、樹脂製品(クイックコネクター、樹脂チューブ製品等)及び車輻安全製品(シートベルト用)のいずれの製品も前年同期と比べて売上げが増加いたしました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

環境対応車向けの補助金制度は終了しましたが、取引先自動車メーカーの生産は前年同期に比べ回復し、製品受注が増加いたしました結果、売上高は339億78百万円(前年同期比14.6%増加)、営業利益は、31億73百万円(前年同期比60.1%増加)となりました。

②北米・中南米

取引先自動車メーカーの生産回復により、売上高は139億29百万円(前年同期比28.1%増加)となりました。また、構造改革による業務効率化と生産性の向上により、営業利益は11億50百万円(前年同期比243.3%増加)となりました。

③中国

中国自動車市場の拡大により引き続き堅調に推移いたしました結果、売上高は38億80百万円(前年同期比10.3%増加)、改革による業務効率化と生産性の向上により、営業利益は4億68百万円(前年同期比41.8%増加)となりました。

④アジア

タイ、インドネシアをはじめとする東南アジアにおける自動車市場の大幅な回復により、売上高は69億33百万円(前年同期比54.3%増加)、営業利益は9億98百万円(前年同期比229.4%増加)となりました。

⑤欧州

売上高は21億9百万円(前年同期比9.4%増加)となりましたが、取引先自動車メーカーの生産回復の遅れにより収益を確保するまでには至らず、74百万円の営業損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は677億円となり、前連結会計年度末に比べて19億8百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の増加7億34百万円、売上債権の増加91百万円、たな卸資産の増加5億26百万円、有形固定資産の減少10億93百万円、投資有価証券の増加10億25百万円、繰延税金資産の増加3百万円等であります。

負債合計は317億86百万円となり、前連結会計年度末に比べて9億23百万円減少しました。主な要因は借入金の減少12億8百万円、未払金の増加3億68百万円、退職給付引当金の増加4億44百万円等であります。

純資産は359億14百万円となり、前連結会計年度末に比べて28億32百万円増加しました。主な要因は四半期純利益による増加26億78百万円、配当金支払による減少6億64百万円、自己株式の処分による増加10億26百万円、為替換算調整勘定の減少3億99百万円等であります。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動により得られた資金は、税金等調整前四半期純利益が43億83百万円、減価償却費が31億36百万円、売上債権の増加による資金減が4億41百万円、たな卸資産の増加による資金減が8億99百万円、仕入債務の増加による資金増が8億86百万円、法人税等の支払による資金減が21億16百万円あったことなどにより、58億49百万円となりました。

投資活動により使用された資金は、有形固定資産の取得による支出が30億99百万円、投資有価証券の取得による支出が11億66百万円あったことなどにより、42億45百万円となりました。

財務活動により使用された資金は、短期借入金の返済による支出10億56百万円、自己株式の処分による収入9億92百万円、配当金の支払による減少6億64百万円などにより、6億80百万円となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は、前期末と比較して7億34百万円増加し、100億47百万円となりました。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表 (訂正前)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,179	9,444
受取手形及び売掛金	14,915	14,824
商品及び製品	2,577	2,490
仕掛品	2,011	1,881
原材料及び貯蔵品	4,010	3,700
繰延税金資産	246	428
その他	1,562	857
流動資産合計	35,498	33,624
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,020	12,982
機械装置及び運搬具	40,445	42,976
工具、器具及び備品	6,330	6,077
土地	3,917	3,445
リース資産	177	112
建設仮勘定	1,082	841
減価償却累計額	△41,886	△42,542
減損損失累計額	△287	—
有形固定資産合計	22,798	23,891
無形固定資産		
のれん	12	39
リース資産	93	100
その他	312	374
無形固定資産合計	417	513
投資その他の資産		
投資有価証券	5,326	4,301
繰延税金資産	2,564	2,430
その他	497	484
投資その他の資産合計	8,387	7,215
固定資産合計	31,602	31,619
繰延資産	—	1
資産合計	67,100	65,244

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,428	11,932
短期借入金	3,845	5,062
未払金	2,077	1,709
未払法人税等	469	1,114
賞与引当金	206	699
製品保証引当金	228	187
その他	1,168	1,107
流動負債合計	<u>20,420</u>	<u>21,810</u>
固定負債		
長期借入金	2,103	2,094
リース債務	139	126
退職給付引当金	<u>7,439</u>	<u>7,123</u>
役員退職慰労引当金	202	202
固定負債合計	<u>9,882</u>	<u>9,544</u>
負債合計	<u>30,302</u>	<u>31,354</u>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,481	3,481
資本剰余金	2,998	3,031
利益剰余金	<u>29,966</u>	<u>27,875</u>
自己株式	<u>△276</u>	<u>△1,302</u>
株主資本合計	<u>36,168</u>	<u>33,086</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,537	1,520
繰延ヘッジ損益	10	△20
為替換算調整勘定	<u>△2,911</u>	<u>△2,512</u>
評価・換算差額等合計	<u>△1,365</u>	<u>△1,012</u>
少数株主持分	<u>1,995</u>	<u>1,816</u>
純資産合計	<u>36,798</u>	<u>33,890</u>
負債純資産合計	<u>67,100</u>	<u>65,244</u>

(訂正後)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,179	9,444
受取手形及び売掛金	14,915	14,824
商品及び製品	2,577	2,490
仕掛品	2,011	1,881
原材料及び貯蔵品	4,010	3,700
繰延税金資産	246	428
その他	1,562	857
流動資産合計	35,498	33,624
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,020	12,982
機械装置及び運搬具	40,445	42,976
工具、器具及び備品	6,330	6,077
土地	3,917	3,445
リース資産	177	112
建設仮勘定	1,082	841
減価償却累計額	△41,886	△42,542
減損損失累計額	△287	—
有形固定資産合計	22,798	23,891
無形固定資産		
のれん	12	39
リース資産	93	100
その他	312	374
無形固定資産合計	417	513
投資その他の資産		
投資有価証券	5,326	4,301
繰延税金資産	3,164	2,979
その他	497	484
投資その他の資産合計	8,987	7,763
固定資産合計	32,203	32,167
繰延資産	—	1
資産合計	67,700	65,792



(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,428	11,932
短期借入金	3,845	5,062
未払金	2,077	1,709
未払法人税等	469	1,114
賞与引当金	206	699
製品保証引当金	228	187
その他	1,168	1,107
流動負債合計	<u>20,420</u>	<u>21,810</u>
固定負債		
長期借入金	2,103	2,094
リース債務	139	126
退職給付引当金	<u>8,923</u>	<u>8,479</u>
役員退職慰労引当金	202	202
固定負債合計	<u>11,367</u>	<u>10,900</u>
負債合計	<u>31,786</u>	<u>32,709</u>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,481	3,481
資本剰余金	2,998	3,031
利益剰余金	<u>29,082</u>	<u>27,068</u>
自己株式	△276	△1,302
株主資本合計	<u>35,284</u>	<u>32,278</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,537	1,520
繰延ヘッジ損益	10	△20
為替換算調整勘定	<u>△2,911</u>	<u>△2,512</u>
評価・換算差額等合計	<u>△1,365</u>	<u>△1,012</u>
少数株主持分	1,995	1,816
純資産合計	<u>35,914</u>	<u>33,082</u>
負債純資産合計	<u>67,700</u>	<u>65,792</u>

(2) 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間  
 (訂正前)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	50,458	60,829
売上原価	42,484	49,749
売上総利益	7,975	11,080
販売費及び一般管理費	4,914	5,317
営業利益	3,060	5,763
営業外収益		
受取利息	9	16
受取配当金	39	54
為替差益	61	—
その他	236	193
営業外収益合計	345	263
営業外費用		
支払利息	248	174
為替差損	—	455
その他	94	106
営業外費用合計	342	736
経常利益	3,063	5,290
特別利益		
前期損益修正益	78	14
固定資産売却益	18	15
特別利益合計	96	29
特別損失		
前期損益修正損	—	83
固定資産除却損	14	174
投資有価証券評価損	256	74
減損損失	—	287
子会社精算損	—	190
特別損失合計	270	807
税金等調整前四半期純利益	2,890	4,512
法人税、住民税及び事業税	1,101	1,451
法人税等調整額	△2	8
法人税等合計	1,099	1,459
少数株主損益調整前四半期純利益	—	3,053
少数株主利益	128	298
四半期純利益	1,663	2,755

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	50,458	60,829
売上原価	42,579	49,858
売上総利益	7,879	10,971
販売費及び一般管理費	4,932	5,337
営業利益	2,947	5,634
営業外収益		
受取利息	9	16
受取配当金	39	54
為替差益	61	—
その他	236	193
営業外収益合計	345	263
営業外費用		
支払利息	248	174
為替差損	—	455
その他	94	106
営業外費用合計	342	736
経常利益	2,950	5,161
特別利益		
前期損益修正益	78	14
固定資産売却益	18	15
特別利益合計	96	29
特別損失		
前期損益修正損	—	83
固定資産除却損	14	174
投資有価証券評価損	256	74
減損損失	—	287
子会社精算損	—	190
特別損失合計	270	807
税金等調整前四半期純利益	2,777	4,383
法人税、住民税及び事業税	1,101	1,451
法人税等調整額	△48	△44
法人税等合計	1,053	1,407
少数株主損益調整前四半期純利益	—	2,976
少数株主利益	128	298
四半期純利益	1,595	2,678

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書  
(訂正前)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,890	4,512
減価償却費	3,263	3,136
減損損失	—	287
のれん償却額	136	38
有形固定資産除却損	—	174
投資有価証券評価損益 (△は益)	256	74
子会社精算損益 (△は益)	—	190
受取利息及び受取配当金	△47	△70
支払利息	248	174
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△15
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,458	△441
たな卸資産の増減額 (△は増加)	732	△899
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,977	886
その他	538	31
小計	6,534	8,077
利息及び配当金の受取額	47	74
利息の支払額	△271	△185
法人税等の支払額	△657	△2,116
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,653	5,849
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,668	△3,099
有形固定資産の売却による収入	18	15
投資有価証券の取得による支出	△11	△1,166
その他	△18	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,679	△4,245
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	11,450	2,811
短期借入金の返済による支出	△11,673	△3,868
長期借入れによる収入	9	732
長期借入金の返済による支出	△646	△663
自己株式の取得による支出	△34	△0
自己株式の処分による収入	—	992
配当金の支払額	△421	△664
少数株主への配当金の支払額	△34	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,348	△680
現金及び現金同等物に係る換算差額	40	△190
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,667	734
現金及び現金同等物の期首残高	5,456	9,313
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,123	10,047

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,777	4,383
減価償却費	3,263	3,136
減損損失	—	287
のれん償却額	136	38
有形固定資産除却損	—	174
投資有価証券評価損益(△は益)	256	74
子会社精算損益(△は益)	—	190
受取利息及び受取配当金	△47	△70
支払利息	248	174
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△15
売上債権の増減額(△は増加)	△4,458	△441
たな卸資産の増減額(△は増加)	732	△899
仕入債務の増減額(△は減少)	2,977	886
その他	651	159
小計	6,534	8,077
利息及び配当金の受取額	47	74
利息の支払額	△271	△185
法人税等の支払額	△657	△2,116
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,653	5,849
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,668	△3,099
有形固定資産の売却による収入	18	15
投資有価証券の取得による支出	△11	△1,166
その他	△18	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,679	△4,245
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	11,450	2,811
短期借入金の返済による支出	△11,673	△3,868
長期借入れによる収入	9	732
長期借入金の返済による支出	△646	△663
自己株式の取得による支出	△34	△0
自己株式の処分による収入	—	992
配当金の支払額	△421	△664
少数株主への配当金の支払額	△34	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,348	△680
現金及び現金同等物に係る換算差額	40	△190
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,667	734
現金及び現金同等物の期首残高	5,456	9,313
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,123	10,047

## (5) セグメント情報

(訂正前)

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	北米・中南米 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	29,642	10,877	9,939	50,458	—	50,458
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	16,353	2,876	1,625	20,853	△20,853	—
計	45,995	13,753	11,563	71,311	△20,853	50,458
営業利益	2,095	335	630	3,060	—	3,060

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米・中南米…アメリカ・カナダ・メキシコ・ブラジル

(2) その他…アジア・ヨーロッパ地域

〔セグメント情報〕

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期損 益計算書 計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	33,978	13,929	2,109	3,880	6,933	60,829	—	60,829
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	9,737	85	—	264	—	10,086	△10,086	—
計	43,716	14,013	2,109	4,144	6,933	70,915	△10,086	60,829
セグメント利益	3,302	1,150	△74	468	998	5,844	△81	5,763

(注) 1. セグメント利益の調整額には、のれんの償却額△38百万円及び棚卸資産の調整額△55百万円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	北米・中南米 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	29,642	10,877	9,939	50,458	—	50,458
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	16,353	2,876	1,625	20,853	△20,853	—
計	45,995	13,753	11,563	71,311	△20,853	50,458
営業利益	1,982	335	630	2,947	—	2,947

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米・中南米…アメリカ・カナダ・メキシコ・ブラジル

(2) その他…アジア・ヨーロッパ地域

[セグメント情報]

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期損益計算書 計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	33,978	13,929	2,109	3,880	6,933	60,829	—	60,829
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	9,737	85	—	264	—	10,086	△10,086	—
計	43,716	14,013	2,109	4,144	6,933	70,915	△10,086	60,829
セグメント利益	3,173	1,150	△74	468	998	5,715	△81	5,634

(注) 1. セグメント利益の調整額には、のれんの償却額△38百万円及び棚卸資産の調整額△55百万円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。